

園芸市場情報

平成26年9月号

www.pref.chiba.lg.jp/ryuhan/engei/

発行：千葉県農林水産部流通販売課
首都圏マーケティングセンター
住所：〒143-0001 東京都大田区東海3-2-1
大田市場事務棟4F
電話：03-5492-5416・5407 FAX：03-5492-5407

9月の相場見通しは？！

野菜類は、入荷量はまちまち、相場は前年を下回るか！

果実類は、入荷量は前年並、相場も前年並か！

花きは、入荷量は前年並、相場は前年並か！

やっちゃんば閑話 「通販と信用」 P10

首都圏掲示板 P11

<今月の3枚> * 千葉県産豊水梨合同試食宣伝会を開催 *

旬を迎えた県産梨「豊水」のジューシーで甘さと酸味が調和した濃厚な味をアピールするため、JA全農ちばと千葉県首都圏マーケティングセンターでは、8月29日、東京都中央卸売市場大田市場で、「千葉県産豊水梨合同試食宣伝会」を開催しました。

試食では、JA西印旛（白井）、JA長生（一宮・岬）、JAいちかわ（柏井）、JA市原市の4産地の「豊水」を提供し、展示品のPRも行いました。

買受人からは、「みずみずしくて甘い。」「豊水らしく、甘みと酸味がほどよくうまい。」など、多くの方から好評価をいただきました。



CONTENTS (目次)

I 青果情報

- 01 8月（中旬まで）の経過
 02 東京都中央卸売市場の主要品目の入荷量と価格
 04 9月の見通し
 05 品目別生産出荷概況
 特集「夏秋トマト」
 06 きゅうり、さといも
 07 かんしょ、なし（豊水）

II 花き情報

- 08 8月の経過（販売経過、入荷量と単価の経過、品目別経過）
 9月の見通し（トルコギキョウ、小菊）

III 千葉県内市場における園芸品の市況概況

- 09 7月の青果物と花き

IV やっちゃんば閑話

- 10 「通販と信用」

V 首都圏掲示板

- 11 「千葉県産梨『豊水』一斉消費宣伝」
 12 「『味が自慢の千葉の梨』を産地がPR！」

用語解説

園芸市場 情報に 使用する 主な用語 解説	急騰	: 前日に比べ大幅に価格が上がる。(3割程度以上)	変動の 幅を 示す 用語	平年並	: ±2%以内
	強い	: 前日に比べ10%程度以上価格が上がる。		やや	: ±3~5%
	強保合	: 前日に比べ5%程度以上価格が上がる。		かなり	: ±6~15%
	保合	: 前日とほとんど同じ価格。		大幅	: ±16%以上
	弱保合	: 前日に比べ5%程度以上価格が下がる。			
	弱い	: 前日に比べ10%程度以上価格が下がる。			
	急落	: 前日に比べ大幅に価格が下がる。(3割程度以上)			
	まちまち	: 産地、品種により、価格の騰落が異なること。			

I 青果情報

1 8月（中旬）までの経過

野菜類

気 象	8月上中旬の気象データでは、平均気温は東・北日本では平年より高かったが、西日本では平年より低かった。台風11号・12号や前線の停滞により全国各地で記録的な大雨となり、降水量は関東の一部を除くほとんどの地点で平年より多かった。日照時間は関東地方と北海道では平年より多かったが、西日本や東北地方では平年より大幅に少なかった。
入荷量	東京都中央卸売市場への入荷は、北海道・東北産や高冷地産が中心となった。 8月上旬に比較的安定していた入荷量は、台風や局地的な豪雨、急激な気温の変動、日照不足等の影響で、各産地で作柄が不安定となり、8月中旬には「きゅうり」「なす」「レタス類」等の品目で品薄となった。 結果、入荷量は8月上中旬で77,926t（前年比99.6%）と前年並となった。
相 場	価格は8月上旬は前年並であったが、8月中旬の品薄感から、高値基調となり「きゅうり」「なす」等多くの品目で高値となり、前年を上回った。 結果として、価格は8月上中旬計で242円/kg（前年比108.3%）と前年より高値となった。

果実類

入荷量	「すいか類」「幸水なし」「もも」を中心に出回った。 「すいか類」は少なかった前年より大幅に多く、「幸水なし」は収穫が前進化して多かった前年よりかなり少なかった。「もも」は少なかった前年よりやや多かった。 結果として、入荷量は、8月上中旬計で、27,906t（前年比101.3%）と前年並となった。
相 場	「すいか類」は7月からの安値が続き前年より大幅に安く、「幸水なし」は引き合いが強くなり高く、「もも」はやや安くなった。 結果として、8月上中旬計で348円/kg（前年比101.0%）と前年並となった。

東京都中央卸売市場の主要品目の入荷量と価格

(単位:t、%、円/kg)

平成26年7月下旬～8月上旬

品目	産地	7月下旬				8月上旬				8月中旬				8月上中旬計			
		開市日数		本年8日・前年8日		開市日数		本年8日・前年9日		開市日数		本年7日・前年5日		開市日数		本年15日・前年14日	
		入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
野菜総量	—	45,500	108.5	223	95.1	39,133	89.8	223	99.9	38,793	111.9	261	116.7	77,926	99.6	242	108.3
だいこん	市場計	3,213	102.6	74	92.9	2,895	91.5	77	104.2	2,691	109.1	112	109.6	5,586	99.2	94	108.7
	千葉	3	21.5	70	91.7	12	243.4	34	30.9	1	154.9	94	151.8	13	236.4	37	35.0
にんじん	市場計	2,159	103.3	112	96.9	2,200	103.3	116	79.7	1,955	126.5	113	70.7	4,155	113.1	114	75.6
	千葉	108	105.8	121	90.9	17	120.1	127	80.5	1	22.6	65	33.3	17	100.6	124	75.1
はくさい	市場計	1,939	102.1	63	58.9	1,545	77.6	91	97.4	1,881	133.4	128	119.0	3,426	100.8	111	112.0
キャベツ類	市場計	6,025	98.8	64	64.2	4,684	81.3	73	102.0	4,686	118.7	100	123.7	9,370	96.5	86	114.9
	千葉	28	263.5	71	64.9	2	442.0	56	58.7	1	14.7	94	120.7	4	43.9	68	85.5
ほうれんそう	市場計	304	101.8	677	104.8	269	87.2	661	126.6	241	118.1	712	107.9	510	99.5	685	118.7
	千葉	8	117.3	571	89.8	6	108.3	633	122.0	5	158.3	550	93.1	11	128.1	593	108.3
ねぎ	市場計	1,323	109.7	274	89.7	1,333	95.5	230	71.3	1,194	117.5	334	84.1	2,528	104.8	279	78.9
	千葉	134	118.6	249	89.7	77	114.7	202	69.6	52	163.4	317	85.6	129	130.4	249	78.6
レタス類	市場計	3,396	104.6	172	109.9	2,766	83.0	181	130.0	3,064	96.5	198	148.1	5,830	89.6	190	139.2
	千葉	13	127.1	274	92.3	11	93.7	298	112.6	9	140.8	300	106.2	20	110.3	299	110.3
きゅうり	市場計	3,178	128.4	199	68.9	2,636	93.0	194	89.4	2,245	86.0	451	244.3	4,881	89.6	312	155.0
	千葉	147	104.4	201	77.9	76	89.7	179	86.4	61	102.2	412	243.1	138	94.8	283	147.6
なす	市場計	1,476	115.9	271	85.7	1,323	85.9	230	98.1	1,180	77.7	338	232.2	2,502	81.8	281	147.7
	千葉	45	93.8	219	93.9	20	54.0	166	97.0	12	62.4	246	234.9	32	56.9	196	132.4
トマト	市場計	3,550	150.7	281	79.5	3,199	91.5	239	79.7	3,304	111.2	233	92.0	6,503	100.5	236	84.7
	千葉	230	142.5	224	71.2	189	86.5	186	71.9	275	123.1	163	84.5	464	105.0	172	76.4
ピーマン	市場計	675	117.2	247	74.8	561	100.8	282	74.7	661	101.2	290	136.5	1,222	101.0	286	99.3
	千葉	10	95.3	222	63.7	10	192.0	314	75.9	8	219.4	445	94.4	18	203.3	373	85.1
さといも	市場計	111	120.3	331	94.8	121	104.7	343	100.0	111	128.1	450	124.6	232	114.7	394	112.4
	千葉	14	139.8	448	108.1	51	145.6	377	92.1	53	136.1	410	108.0	104	140.6	394	100.0
ばれいしょ類	市場計	1,855	112.8	140	81.7	1,641	108.1	131	67.3	2,000	156.2	130	72.2	3,641	130.1	131	69.4
	千葉	384	125.1	123	74.5	234	122.4	100	54.3	88	177.9	85	49.0	322	133.8	96	52.7
たまねぎ	市場計	3,193	99.5	127	140.2	2,886	85.9	131	114.5	2,998	121.8	135	117.3	5,884	101.1	133	116.0
生しいたけ	市場計	155	104.4	850	100.8	127	83.0	880	110.6	124	104.4	1,008	121.8	251	92.3	943	116.5
かぼちゃ	市場計	857	104.3	210	106.2	876	99.5	175	85.3	940	123.2	167	86.2	1,816	110.5	171	85.5
さやえんどう	市場計	18	110.2	816	94.9	12	81.2	1,042	131.3	9	98.5	1,427	159.7	20	87.7	1,203	144.9
かんしょ	市場計	473	108.5	236	115.9	513	90.4	238	108.5	483	130.8	235	115.6	996	106.3	237	111.1
	千葉	81	104.8	201	126.2	143	94.2	226	107.6	208	123.7	220	115.3	351	109.7	222	111.2
かぶ	市場計	312	116.7	146	90.5	278	97.7	137	91.4	204	118.3	151	92.9	482	105.4	143	92.4
	千葉	153	114.6	121	98.5	128	91.0	115	99.6	119	157.4	123	92.3	247	114.2	119	97.7
ごぼう	市場計	168	94.5	315	129.8	141	80.9	273	113.3	112	106.4	333	127.6	253	90.5	300	120.6
	千葉	8	132.0	413	113.5	4	89.9	372	103.8	3	124.9	376	103.5	7	100.8	373	103.8
こまつ菜	市場計	397	93.9	231	116.5	336	93.1	199	102.6	309	111.1	265	125.7	644	100.9	231	114.6
	千葉	11	111.8	264	93.5	9	71.1	267	116.1	11	116.8	324	105.7	20	90.2	298	113.7
こねぎ	市場計	159	106.9	876	84.8	151	91.1	949	111.9	139	136.3	1,060	111.2	290	108.3	1,002	112.8
わけぎ	市場計	7	101.7	587	97.3	7	98.4	639	107.2	6	122.5	755	106.1	13	108.5	694	107.7
糸みつば	市場計	59	116.0	394	93.2	43	76.6	343	117.4	44	132.4	459	117.4	86	97.4	402	122.1
しゅんぎく	市場計	21	120.0	717	79.7	17	108.8	829	100.3	11	126.2	1,358	114.8	28	115.1	1,038	108.7
	千葉	2	145.2	701	79.2	2	76.5	857	91.0	2	155.3	1,416	122.1	3	104.5	1,152	113.1
にら	市場計	248	90.7	343	111.7	205	72.3	488	161.2	210	116.4	682	153.8	416	89.4	586	164.0
セルリー	市場計	349	109.3	196	87.9	312	85.5	188	118.2	301	128.9	205	100.6	613	102.4	196	111.3

品目	産地	7月下旬				8月上旬				8月中旬				8月上中旬計			
		開市日数 本年8日・前年8日				開市日数 本年8日・前年9日				開市日数 本年7日・前年5日				開市日数 本年15日・前年14日			
		入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
カリフラワー	市場計	73	108.1	235	107.6	54	91.1	270	130.2	44	108.5	296	127.3	98	98.1	282	129.5
ブロッコリー	市場計	669	107.7	332	99.3	475	75.0	349	108.8	474	98.9	377	116.2	949	85.3	363	112.6
サラダ菜	市場計	36	103.5	353	86.8	35	89.9	359	109.9	31	124.7	532	108.2	65	103.4	440	112.6
	千葉	19	97.9	285	80.4	18	81.3	312	115.7	14	133.6	468	105.7	32	98.3	381	116.9
パセリ	市場計	31	107.4	745	109.2	30	94.2	668	98.6	27	116.7	1,272	121.5	57	103.7	954	114.5
	千葉	11	113.2	618	104.3	9	98.9	619	90.5	7	125.8	1,036	107.0	16	109.8	813	101.7
チンゲンサイ	市場計	133	98.0	242	97.9	111	84.8	228	107.8	100	102.6	275	113.0	211	92.4	250	111.2
エンダイブ	市場計	11	105.4	427	79.6	10	103.1	398	96.6	7	107.7	515	77.5	17	104.9	444	87.2
ミニトマト	市場計	645	120.6	540	105.7	538	102.2	509	93.6	576	123.0	524	96.9	1,114	112.0	517	95.3
	千葉	24	104.0	571	100.4	14	63.5	535	97.8	9	97.2	573	100.9	23	73.7	550	99.4
とうもろこし	市場計	1,737	113.4	182	101.7	1,351	98.1	197	92.8	1,507	114.0	177	106.2	2,859	105.9	187	98.2
	千葉	934	114.8	191	103.1	418	86.1	205	92.5	131	89.2	215	118.4	549	86.8	207	97.7
いんげん	市場計	181	118.8	475	85.6	129	78.3	530	95.7	73	45.0	907	182.1	202	61.8	666	126.6
えだまめ	市場計	739	134.7	604	100.2	676	135.2	650	83.7	547	130.5	742	83.6	1,222	133.1	691	83.5
やまといも	市場計	55	69.0	591	127.2	52	61.5	627	130.6	60	120.9	682	142.5	112	83.4	657	136.9
	千葉	34	67.2	570	126.1	31	55.6	603	126.5	36	110.8	654	139.7	67	76.2	631	133.2
根しょうが	市場計	216	97.7	532	134.5	199	81.5	536	151.3	168	101.4	565	153.7	366	89.6	550	152.7
マッシュルーム	市場計	34	124.8	812	102.9	31	108.1	822	105.2	33	157.2	837	102.7	64	128.8	829	104.3
外国産	—	907	105.1	270	98.9	867	88.6	257	96.0	822	110.4	290	100.2	1,689	98.0	273	98.5
果実総量	—	15,114	118.4	328	96.3	15,684	94.0	334	94.3	12,222	112.5	365	111.1	27,906	101.3	348	101.0
みかん類	市場計	318	100.9	972	108.7	390	78.4	976	107.6	219	144.9	898	107.5	610	93.9	948	106.5
(ハウスみかん)	市場計	316	100.6	971	108.6	388	78.0	975	107.5	218	144.4	898	107.5	607	93.5	947	106.4
かんきつ類	市場計	371	82.8	241	123.2	342	83.5	236	116.0	320	107.0	231	115.3	662	93.4	234	115.5
りんご類	市場計	670	88.1	489	149.7	672	80.3	512	146.4	483	81.9	484	136.6	1,156	81.0	501	142.3
(ふじ)	市場計	520	95.4	498	140.9	468	82.8	540	146.5	269	61.8	540	145.3	737	73.7	540	146.0
いちご類	市場計	22	111.3	1,506	90.1	20	80.0	1,523	108.8	18	115.7	1,384	80.0	38	93.6	1,458	95.5
メロン類	市場計	1,284	103.7	361	105.7	934	72.2	397	115.1	630	93.8	491	131.7	1,565	79.6	435	122.7
	千葉	158	77.9	274	96.5	28	75.0	342	122.7	15	121.8	418	144.7	43	86.4	368	130.9
(アールスメロン)	市場計	208	107.9	528	98.7	225	81.4	518	102.4	178	131.9	666	113.1	404	98.0	583	109.5
	千葉	7	117.9	469	105.6	5	84.2	521	110.0	6	93.4	614	154.0	11	89.3	575	132.8
すいか類	市場計	6,118	133.1	135	84.9	5,974	119.4	140	89.1	3,051	128.1	141	77.2	9,025	122.2	140	84.9
	千葉	445	149.1	110	78.4	161	172.1	97	83.7	56	402.3	86	72.2	217	201.8	94	81.0
(大玉すいか)	市場計	5,296	130.0	131	86.2	5,392	119.1	134	88.8	2,826	126.7	136	76.2	8,218	121.6	135	84.2
	千葉	403	148.6	107	78.2	132	174.5	90	83.7	51	391.2	82	69.7	51	206.3	88	80.5
(こだますいか)	市場計	822	157.4	157	74.8	582	122.1	192	90.6	225	148.4	204	83.4	807	128.5	195	88.9
	千葉	42	154.3	135	79.4	29	161.9	127	85.1	5	575.0	133	87.9	29	180.4	128	85.6
なし(幸水)	市場計	767	86.4	436	100.7	2,195	76.5	358	104.8	2,521	118.6	313	115.2	4,715	94.4	334	107.1
	千葉	78	35.2	467	107.0	638	56.3	392	113.0	785	109.3	338	125.5	1,423	76.9	362	114.3
もも	市場計	2,939	158.8	447	85.8	2,538	103.4	411	79.8	2,132	105.8	420	127.6	4,670	104.5	415	96.3
ぶどう類	市場計	618	102.6	762	95.6	918	79.1	763	99.7	1,155	115.3	767	104.8	2,073	95.9	765	102.1
かき類	市場計	7	94.8	1,041	112.3	10	64.7	1,003	138.2	14	197.0	903	119.7	24	106.7	944	128.5
外国産	—	1,631	89.0	221	120.1	1,421	74.4	215	120.2	1,410	103.0	215	119.3	2,831	86.3	215	119.8

注) 斜体で表示した品目は、季節的に入れ替えをします。
0は単位に満たないもの。 —は数値の発表がないもの。

前年比10%以上
前年比10%以下

資料：東京青果物情報センター速報

2 9月の見通し

野菜類

産地は、北海道、東北及び高冷地を中心に出回るが、関東産も漸増します。

入荷量は、東北、九州等の一部地域での長期の曇天や局所的な豪雨などの影響で、品目ごとまちまちになります。

価格は、天候不良の影響で8月下旬に一部の品目で入荷が大きく減り、価格高騰が続いたが高値疲れにより、多くの品目で高かった前年を下回る見込みです。

果実類

「なし類」「ぶどう類」を中心に「りんご類」など秋果実が出回り、本県産「なし(豊水)」の最盛期となります。

入荷量は、生育順調な品目が多く、前年並となる見込みです。

価格は、「なし(豊水)」は引き合いが強く高単価で推移しており、9月の単価も前年を上回る見込みで、果実全体では前年並となる見込みです。

東京都中央卸売市場における9月の見通し

()は単位

品目	入 荷 量				単 価				千葉県産実績	
	見込み (t)	前年実績 (t)	前年比 (%)	5ヶ年平均 (t)	見込み (円/kg)	前年実績 (円/kg)	前年比 (%)	5ヶ年平均 (円/kg)	前年入荷量 (t)	前年占有率 (%)
だいこん	11,250	11,477	98.0	11,678	105	126	83.3	105	6	0.1
にんじん	7,700	7,561	101.8	7,259	115	133	86.5	136	11	0.1
キャベツ類	14,650	14,621	100.2	15,335	85	97	87.6	84	56	0.4
レタス類	9,550	9,564	99.9	8,742	200	179	111.7	177	34	0.4
ほうれんそう	850	862	98.6	968	750	770	97.4	685	44	5.1
ねぎ	5,150	4,856	106.1	4,597	280	299	93.6	299	38	0.8
なす	3,750	3,665	102.3	4,103	300	352	85.2	272	31	0.8
トマト	7,950	8,062	98.6	7,869	350	380	92.1	381	1,356	16.8
きゅうり	6,700	7,028	95.3	7,801	330	379	87.1	262	173	2.5
かんしょ	3,200	3,192	100.3	3,149	165	165	100.0	164	1,832	57.4
さといも	1,050	960	109.4	1,113	260	313	83.1	258	603	62.9
なし(豊水)	6,700	6,210	107.9	6,849	300	243	123.5	251	1,068	17.2

前年比10%以上

前年比10%以下

3 品目別生産出荷概況

9月入荷予測	7,950t(前年比98.6%、平年比101.0%)
9月価格予測	350円(前年比92.1%、平年比91.9%)
9月市況予測	上旬：↗(強保合) 中旬：↗(強保合) 下旬：↗(強保合)

夏秋トマト

東京都中央卸売市場における夏秋トマトの入荷状況

産地	25年9月入荷量	25年9月シェア率
北海道	933 t	11.6 %
青森	1,370 t	17.0 %
福島県	1,361 t	16.9 %
千葉	1,356 t	16.8 %
茨城	1,018 t	12.6 %

今後の競合産地の動向は？

夏秋トマトの入荷は主に7月から11月まで、北海道、青森県、福島県、千葉県、茨城県産が中心となります。

産地リレーは、7月中旬から入荷量が増加し8月上中旬にピークを迎える北海道、青森県、福島県から、8月下旬に入荷が開始し10月中旬にピークを迎える千葉県、茨城県の順となります。

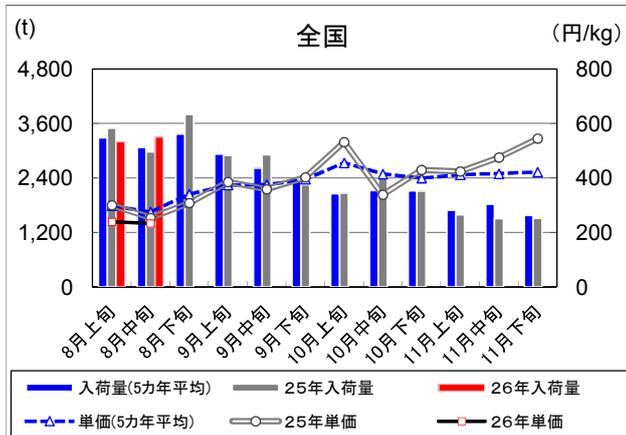
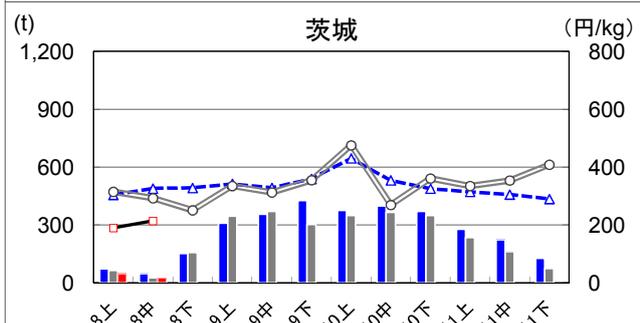
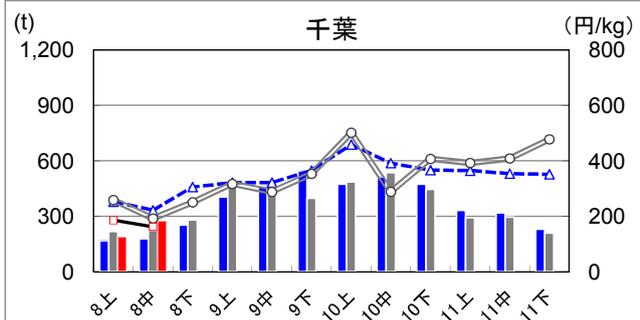
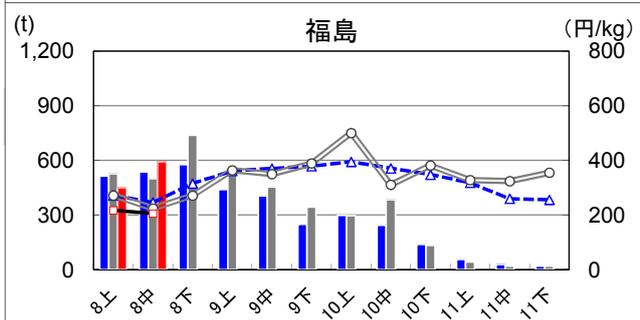
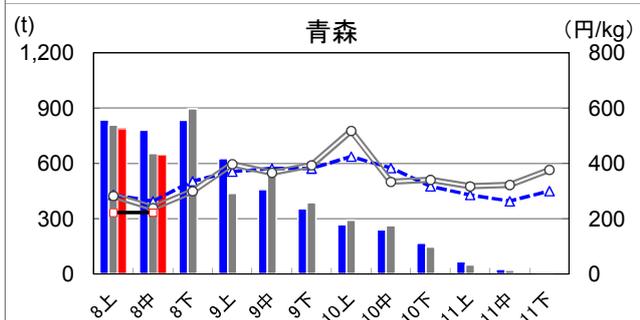
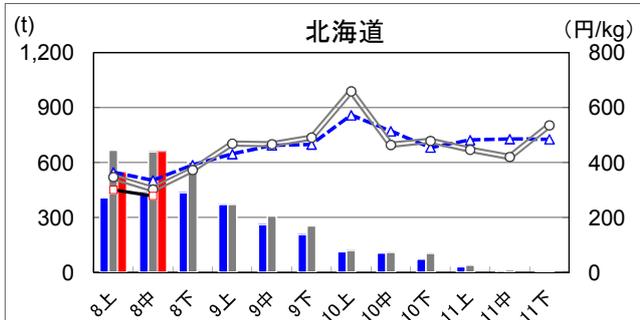
北海道産は8月下旬に低温で推移したことからの少なめとなったが、9月上旬で回復し、平年並の入荷量となる見込みです。

青森県産8月に大雨で浸水したほ場があり、日照時間も少なく入荷量は少ない。9月も前年を下回る入荷量となる見込みです。

福島県産は日照不足や低温の影響で一時的に出荷量が少なくなっているが、9月には回復する見込みです。

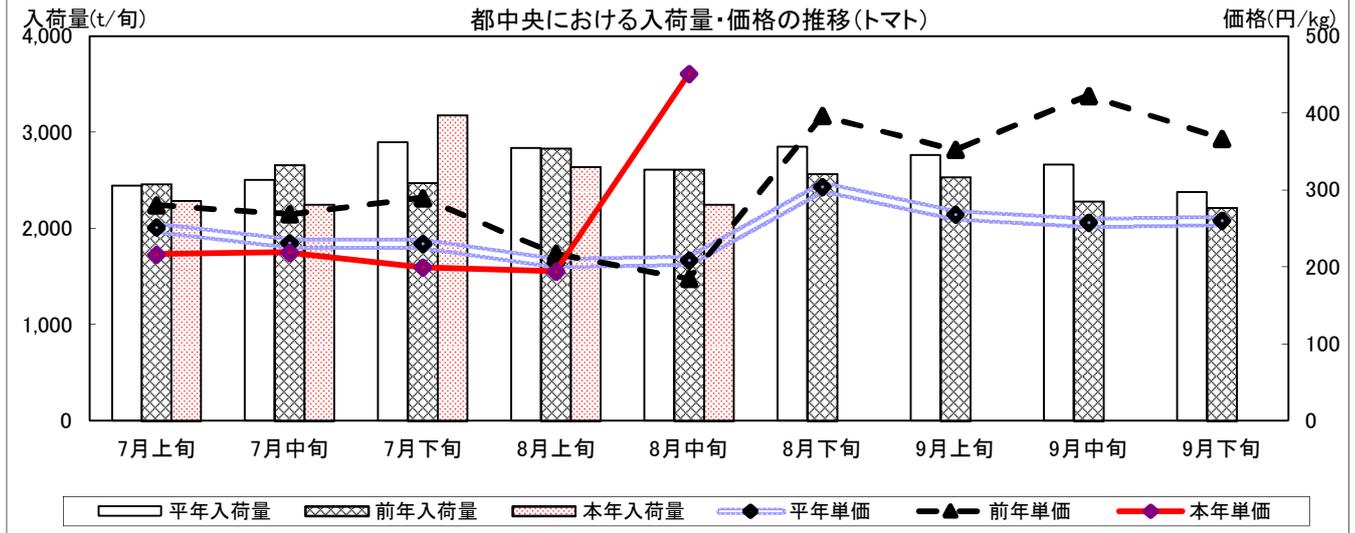
茨城県産は生育順調ですが、作付減少から入荷量は前年を下回る見込みです。

千葉県産は生育順調から前年並の入荷量となる見込みで、全体でも前年並の入荷量となる見込みです。



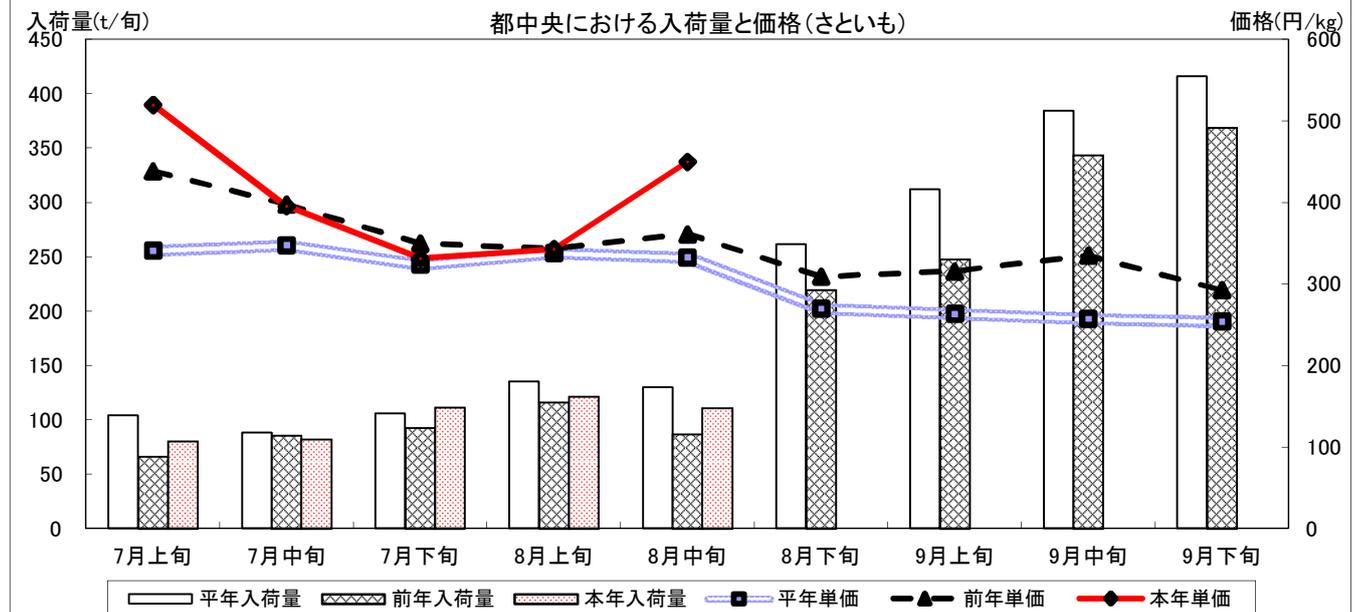
きゅうり

入荷予測	6,700t(前年比95.3%、平年比85.9%)
価格予測	330円(前年比87.1%、平年比126.0%)
市況予測※	上旬：↘(弱い) 中旬：↘(弱保合) 下旬：⇒(弱保合)
主産地の概況	福島県;曇天による多湿で草勢低下や側枝の発生不良が見られる。出荷量は少なかった前年並で、平年をかなり下回る見込み。
	群馬県;生育は順調。2月の降雪によるハウス倒壊からの再建が遅延しており、栽培面積が減少している。出荷量は、前年及び平年を大幅に下回る見込み。
	埼玉県;生育は順調。2月の降雪によるハウス倒壊からの再建が遅延しており、栽培面積が減少している。出荷量は、前年及び平年を大幅に下回る見込み。



さといも

入荷予測	1,050t(前年比109.4%、平年比94.3%)
価格予測	260円(前年比83.1%、平年比100.8%)
市況予測※	上旬：↘(弱い) 中旬：↘(弱い) 下旬：⇒(保合)
主産地の概況	千葉県;例年通り出荷が始まっている。乾燥が続いていたが、多くの圃場でかん水を行っており、生育は概ね順調。9月の出荷量は前年をやや上回り、平年並の見込み。
	宮崎県;生育は台風により茎葉損傷の被害が出ている。出荷量は少なかった前年並みで、平年を大幅に下回る見込み。

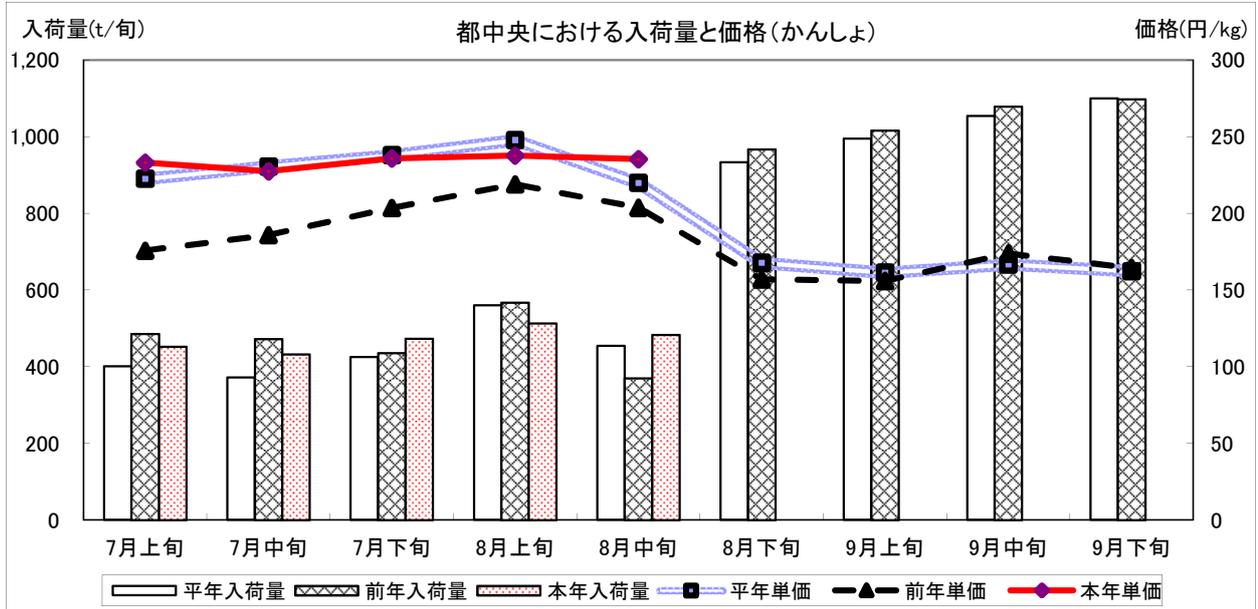


資料は東京青果物情報センター速報値、平年値は5ヶ年平均値。

※:市況予測の用語については、目次の「用語解説」を参照のこと

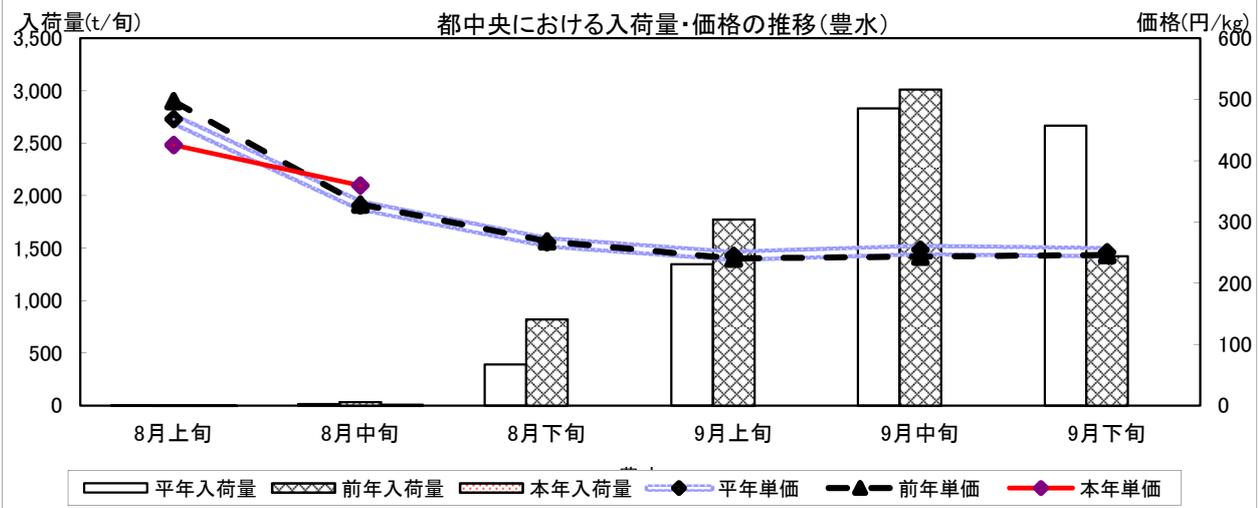
かんしょ

入荷予測	3,200t(前年比100.3%、平年比101.6%)
価格予測	165円(前年比100.0%、平年比100.6%)
市況予測※	上旬：↘(弱保合) 中旬：↔(保合) 下旬：↔(保合)
主産地の概況	千葉県;7月の乾燥で一部ほ場では葉がしおれたが、8月中旬の降雨で回復している。肥大は良好で、形状や皮色も良い。9月の出荷量は前年並の見込み。
	茨城県;生育は順調で、9月の出荷量は前年並の見込み。



なし(豊水)

入荷予測	6,700t(前年比107.9%、平年比97.8%)
価格予測	300円(前年比123.5%、平年比119.5%)
市況予測※	上旬：↘(弱保合) 中旬：↔(保合) 下旬：↔(保合)
主産地の概況	茨城県;生育は順調。9月2週目からピークとなる見込みで、出荷量は少なかった前年をかなり上回る見込み。
	栃木県;肥大は平年並と予測され、生育は順調。9月上旬から出荷開始し、2週目にピークとなる見込みで、出荷量は少なかった前年を大幅に上回る見込み。
	千葉県;高温・乾燥から小玉傾向となっている。ピークは9月上旬。前年は8月に多く出たことから、今年の9月の出荷量は前年をかなり上回る見込み。



資料は東京青果物情報センター速報値、平年値は5ヶ年平均値。
 ※:市況予測の用語については、目次の「用語解説」を参照のこと

II 花き情報

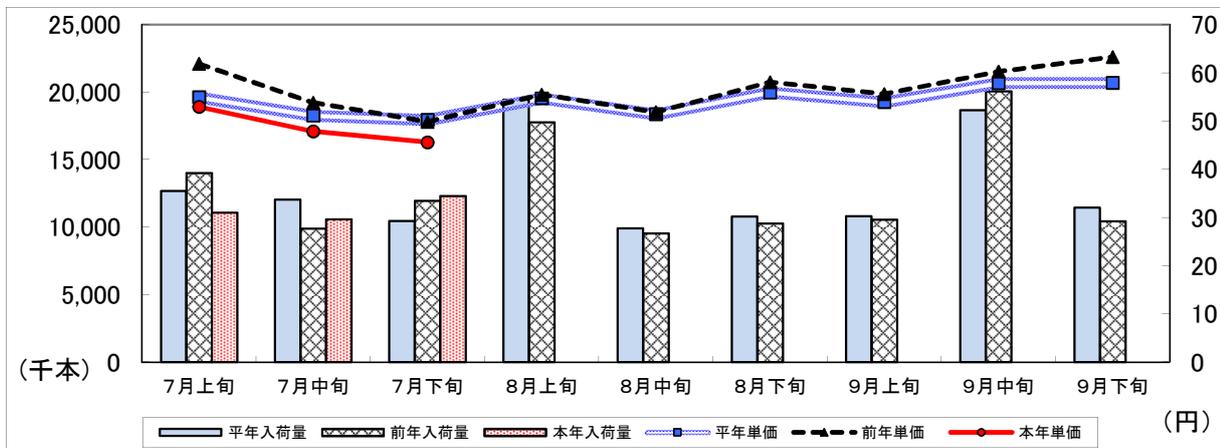
1 8月の経過（切花）

物日である8月盆に向けた取引については、中心品目である菊類などが前進開花傾向となり数量が不足したため、堅調な相場となった。

(1) 販売経過（東京都中央卸売市場大田市場）

項目	経過
入荷量	盆向けの品目の多くは前進開花傾向で、月初めに潤沢な入荷となったが、その後の盆の取引時期には入荷量が平年を下回り、品薄となった。
相場	月初めは大きな需要がない中で入荷量が増えたことから相場は弱含んだが、その後は品薄感から堅調相場となった。
品目等	盆の中心品目である輪菊や小菊、ユリなどは前進開花傾向となったため、需要期に品薄となり、価格は強含んだ。

(2) 入荷量と単価の経過〔株大田花き（切花）〕



(3) 品目別経過

品目	経過	
ユリ (オリエンタル)	世田谷花き	中心産地である北海道が前進開花傾向のため、盆の需要期に入荷量が減少し、品薄の単価高となった。
	F A J	北海道産の前進出荷により、お盆の需要期は入荷量が減少し、引き合いが強まった。
小菊	大田花き	前進開花の影響で月の初めは数量が多く低調な取引であったが、盆の仕入れ時期になって引き合いが強まった。盆後も入荷数量が少なかったことから堅調な相場が続いた。
	F A J	天候により開花が前進気味となったため、盆の需要期に数量が少なくなり堅調な相場となった。

2 9月の見通し

品目	見通し	
トルコギキョウ	大田花き	平年並みの入荷量が見込まれる。中旬以降、お彼岸・ブライダル需要が見込まれ、活発な取引となる。
	F A J	ブライダル需要の高まりから活発な取引となる。
小菊	大田花き	盆と同様に前進化傾向であるため、上旬は厳しい販売となるが、中旬以降彼岸に向けて、引き合いが強まる。
	フラワーポート	福島・茨城とも開花が前進気味であるため、彼岸の需要期には数量が少なくなり、引き合いが強くなる。

Ⅲ 千葉県内市場における園芸品の市況概況

1. 青果物

単位：t、円/kg、%

品目	H26.7月				累計 (H26.4~7月)	
	数量	単価	前年比		数量	単価
			数量	単価		
野菜	22,713	184	98	93	102,207	173
だいこん	2,065	77	99	85	11,900	73
にんじん	1,382	107	111	94	7,283	120
はくさい	1,211	71	95	86	5,315	59
キャベツ	4,194	69	94	79	19,018	74
ねぎ	821	291	105	89	3,878	258
トマト	1,552	279	112	84	6,479	277
きゅうり	1,174	208	112	74	5,452	227
ばれいしょ	1,066	120	97	90	6,314	120
たまねぎ	1,571	126	93	148	7,450	121
レタス	1,581	163	97	89	5,294	148
果実	6,849	268	98	92	21,508	321
みかん	125	662	122	90	523	452
かき類	1	960	176	78	1	993
グレープフルーツ	252	143	116	102	1,047	174
なし類	131	429	41	107	132	433
ぶどう類	214	672	95	91	417	646
いちご類	5	1,368	105	94	1,060	832
すいか類	2,600	120	105	73	5,085	175
メロン類	972	289	101	92	2,786	354
バナナ	509	170	75	116	2,201	170
りんご	243	416	95	133	1,618	356
その他	225	172	87	125	1,060	169
青果物合計	29,787	203	98	93	123,775	198

2. 花き

単位：千本(鉢)、円/本(鉢)、%

品目	H26.7月				累計 (H26.4~7月)	
	数量	単価	前年比		数量	単価
			数量	単価		
切り花	3,073	43	96	96	10,698	46
きく	1,089	41	94	78	3,548	47
バラ	115	49	85	106	477	57
カーネーション	360	41	100	95	1,352	42
枝物	64	84	108	97	215	93
鉢物	66	119	86	92	602	116
その他	6	140	85	122	15	169
花き合計	3,209	46	96	88	11,530	51

※県内公設卸売市場実績。品目は主なもの。数値の「0」は入荷はあるが単位に満たないことを示す。
 ※「-」は、数値の発表がないことを示す。

や っ ち ゃ ば 閑 話

通販と信用

自分の妻は通信販売が好きである。

何種類もカタログを集めては熱心にページをめくり、お気に入りの商品を吟味している。そして毎月のように宅配で段ボール箱が届く。

「仕事で買い物に行く時間が無い」というのが向こうの言い分だが、自分から見るともはや「通販中毒」に見えてくる。

自分としては、この通信販売というものはどうにも性に合わない。現物を見ずに、よく買い物ができるものだと、つくづく感心する。

「カタログを見ただけで買物をして、変な物をつかまされたりしないのか？」と聞いたことがあったが、「ネットで「ロコミ」を調べて信用できる物しか買わないから大丈夫」とのことであった。

さて話は変わるが、この8月に東京都中央卸売市場大田市場の(株)大田花きで、「画像セリ」の試行が行われた。

(株)大田花きのセリはセリ人が箱から見本となる花を取り出し、買参人はそれを見て、座席の端末を操作して競売に参加するシステムである。

しかし「画像セリ」では見本商品は保管庫に置かれたままで、買参人は端末のモニターに表示される商品の画像を見て競売に参加するのである。これにより人が花に触る回数が減って品質を保持できると共に、セリの効率化を図ることができるとのことである。まさに花の「通販」である。

今後このような取組が広まっていくのだろうか。そのとき買参人は何を基準に商品を購入するのであろうか。そんなことを卸の担当者に尋ねてみたら「商品や産地の信用」との答えが返ってきた。

通販もセリも同じ、やはりこれからの時代は信用・信頼という物が取引において、ますます重要になってくるのだろう

そんなことを考えた昼下がりであった。

(ピンクの自転車)



千葉県産梨「豊水」一斉消費宣伝

県と全農千葉県本部、卸売会社等が連携して実施している千葉県フェアの一環として、旬を迎えた梨「豊水」の消費宣伝を下記の16店舗で実施しています。

売り場装飾、試食宣伝員による販売促進を行うほか、一部店舗では生産者自身によるPRを実施。お客さんに、食べ頃や選び方などの情報や、産地の魅力を直接伝えています。

実施日	実施店舗名
8月30日(土)	マックスバリュ野田七光台店
	築地定松京王百貨店新宿店
8月30日(土)	イトーヨーカドー食品館鎌ヶ谷店
8月31日(日)	イオンマリンピア店
9月 6日(土)	マックスバリュ野田七光台店
	マルマンストア中野店
	マルマンストア日暮里店
	フレッシュワン大丸東京店
9月 6日(土)	ヤオコー市川新田店
	マルエツ北柏店
9月 7日(日)	イトーヨーカドー船橋店
	アピタ東松山店
9月 7日(日)	カスミ南柏店
	カスミフードスクエア柏中新宿店
	カスミ湖北店
	カスミフードスクエア西の原店
	カスミ原山店



8月30日イオンマリンピア店



8月30日イトーヨーカドー食品館
鎌ヶ谷店



「味が自慢の千葉の梨」を産地がPR！

千葉県の梨産地合同で、東京都中央卸売市場大田市場で実施した試食宣伝会では、産地も参加してPRを行いました。「幸水」（8月5日）ではJAいちかわ、「豊水」（8月29日）ではJA西印旛、JA長生が参加し、自慢の梨をふるまうとともに、産地の状況を説明するなどして、買参人への売り込みを行いました。

また、8月30日にイオンマリリンピア店で実施した「豊水」の消費宣伝では、一宮・岬梨組合の生産者が参加し、消費者に「豊水」をPRしました。「すぐ食べるならこれ！」など、食べるタイミングに合わせて生産者が選んでくれることから、売り場には絶えずお客さんが訪れていました。



JAいちかわ（8月5日）



JA西印旛（8月29日）



JA長生（8月29日）



一宮・岬梨組合（8月30日）